

「ビジネスキャリア制度」について

○背景⇒ ホワイトカラー労働者に求められる職業能力が多様化・高度化し、また、能力主義的な人事処遇制度が広まる等職業能力を客観化するニーズが高まっている中、労働者の段階的・体系的な職業能力の習得を支援し、また、労働者の職業能力を評価する仕組みが不可欠。

1 ビジネスキャリア制度の目的

労働者と企業との間で、ホワイトカラーに必要な職業能力について、共通の物差しが広く使われるようにする、そのような社会基盤の形成を図るものである。(平成6年～)

2 ビジネスキャリア制度の概要

(1) 同制度は、ホワイトカラーの職務分野(10分野)毎に、その職務遂行に必要な専門的知知識を165単位(ユニット)に分類し、各単位毎に学習すべき知識等の内容を体系化したもの。

【体系化された10の職務分野】＝①人事・労務・能力開発、②経理・財務、③営業・マーケティング、④生産管理、⑤法務・総務、⑥広報・広告、⑦物流管理、⑧情報・事務管理、⑨経営企画、⑩国際業務

(2) 同制度は、キャリア目標を立てた労働者が学習に取り組むことができるよう、民間の教育訓練機関等が行う講座について、各機関からの申請に基づいてビジネスキャリア制度認定講座として認定する。

【認定講座 ⇒70機関、1,067講座】(17年1月末)

【受講者数 ⇒47,686人】(15年度分)

(3) 同制度では、各単位ごとに知識・能力の習得状況を確認するための修了認定試験を中央職業能力開発協会が実施している。その合格者には、同協会会長名の修了認定書が交付される

【受験申請者数 ⇒27,062人】(15年度分)

3 ビジネスキャリア制度の効果

(1) 労働者

- ・ 職務遂行に必要な能力を知りキャリア目標を立てる際に活用できる。
- ・ 自身の持つ職務遂行能力を明確にすることを通じて、社内における処遇の向上や、円滑な労働移動時に活用できる。

(2) 企業

- ・ 社員の自己啓発促進や、修了認定試験の合格を昇進昇格の要件とする等社内の人材育成や、人事処遇制度と連動して活用できる。

ビジネス・キャリア制度利用状況の推移

平成16年3月末日現在

年 度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
教育機関数(機関)	166	149	117	101	105	105
講座数(コース)	3,055	3,660	3,444	3,128	2,989	3,442
講座受講者数(人)	-	-	-	-	67,295	70,911
修了試験受験者数(人)	5,064	5,732	7,790	11,271	13,671	16,363
修了試験合格者数(人)	1,284	1,768	3,116	4,102	5,063	7,922

年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
教育機関数(機関)	108	94	97	85	72
講座数(コース)	3,398	1,692	1,261	1,262	1,071
講座受講者数(人)	63,327	57,820	52,837	47,686	-
修了試験受験者数(人)	19,766	21,887	23,315	23,483	-
修了試験合格者数(人)	10,240	12,086	13,387	12,495	-

